

令和3年9月27日

京都市山科区役所
担当 地域力推進室まちづくり推進担当
TEL 592-3088
山科区地域啓発推進協議会

「山科区人権映画のつどい」の開催について

山科区では、12月の人権月間に合わせて、区民の皆様にも人権について認識を深めていただくため、「山科区人権映画のつどい」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行ったうえで、京都リップル代表の深田麗美氏によるバリアフリー上映(※)に関する講演の後、映画「心の傷を癒すということ」のバリアフリー上映を行いますので是非御来場ください。

※ バリアフリー上映とは…

日本語字幕及び副音声でのガイドにより、障害のある方もない方も鑑賞いただける上映方法です。

記

- 1 日 時 令和3年12月8日(水)
午後1時～午後3時30分(正午受付開始)
- 2 場 所 京都市東部文化会館
(地下鉄東西線柳辻駅下車 1番出入口から徒歩7分)

- 3 内 容
(1) 講 演 「バリアフリー上映について」
講師：深田麗美氏

深田麗美 氏

京都市出身。2003年5月同志社大学在学中に障害のある学生支援のために京都リップルを立ち上げる。

現在はバリアフリー上映についての講演を主な活動とし、障害に対する理解を深め、広めるよう努めている。

- (2) 上映映画 「心の傷を癒すということ」
出演者：柄本佑、尾野真千子、濱田岳、森山直太朗、浅香航大、清水くるみ、上川周作 ほか



映画「心の傷を癒すということ」〈あらすじ〉

幼い頃、自分のルーツが韓国にあることを知った安和隆。人の心に関心をもった和隆は厳格な父の反対を押し切り精神科医として進み出す。愛する人と出会い、子どもにも恵まれた和隆たちだったが、そんな彼らを阪神大震災が襲う。

未曾有の災害の中で精神科医として自分にできることを考え、避難所を回り様々な悩みを抱えた被災者に寄り添うのだった。しかし、そんな和隆の体を病魔が襲う・・・

『ひとりぼっちにしない』という言葉に胸に生きた精神科医の感動の実話。

- 4 定員 150名
※申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。
- 5 参加費 無料
- 6 申込方法 往復はがきに「山科区人権映画のつどい」と明記し、①住所、②氏名、③同伴者氏名（本人と同伴者で3名まで）、④電話番号（代表者のみ）を御記入いただき、「9 申込み・問合せ先」までお送りください。
- 7 申込締切 11月12日（金）当日消印有効
- 8 感染防止対策
- ・定員を縮小し、座席の間隔を空けて実施します。
 - ・発熱や体調不良等、感染を疑う症状がある場合の御参加は御遠慮ください。
 - ・マスク着用のうえ、御参加ください。
 - ・当日、会場入口にて検温、手指のアルコール消毒を行います。
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、予告なく中止する場合があります。
- 9 申込み・問合せ先 〒607-8511（住所記入不要）
山科区役所地域力推進室 まちづくり推進担当
（電話）592-3088

区内市立中学校の生徒による「人権啓発ポスター」の作品展示を行います。

- 期間 令和3年12月8日（水）～12月27日（月）
- 場所 アートロードなぎつじ（地下鉄柳辻駅）